

# てんぷら油火災消火訓練

## ～指導要領～

### 1 準備するもの

- ・てんぷら油消火セット（駿東伊豆消防本部にて貸出しをしています）

### 2 指導のポイント

- (1) 空気を遮断することにより火が消えることを伝える
- (2) フライパンを覆ったシート等をすぐにめくらないことを伝える  
油は熱いままであり、再び発火してしまう恐れがあるため
- (3) 万が一のため、消火器を用意する
- (4) 消火器にて消火する場合、噴射の勢いで油を飛散させる可能性がある  
少し離れた場所から徐々に近づくか、壁などに当てて噴射の勢いを弱めて消火する

### 3 指導要領

#### ～導入～

指導者：今からてんぷら油火災の消火訓練をおこないます。

皆さんの家には消火器が置いてありますか？

今から皆さんと一緒に消火器を使わない方法で訓練しますが、実際に火がついてしまった場合は消火器を使うようにしましょう。

その際は、噴射の勢いで油を飛散させる可能性がありますので、少し離れた場所から徐々に近づくか、壁などに当てて噴射の勢いを弱めて消火するようにしましょう。

火は数分もあれば家をすべて焼いてしまいます。

消防車が到着する前に大切なものがすべて燃えてしまうかもしれません。

大事なことは「火が出たらすぐに消す」こと。

そのために家に消火器を置いておくようにしましょう。

#### ～消火方法～

指導者：皆さんはてんぷらを揚げたりしますか？

揚げ物はどうでしょうか？

まさか揚げ物をしている最中にその場を離れたりしていませんか？

てんぷらを揚げている最中に突然発火したとしても慌ててはいけません。

間違っても水をかけるようなことはしないでください。

てんぷらを揚げている最中に発火した場合、消火器を使用するのが良いですが、もし近くになかった場合、シーツや大きめのタオルを使用します。

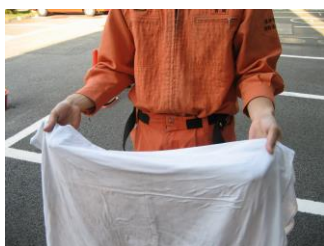
消火方法は「窒息消火」です。

火は水で消えますが、空気を遮断しても消えます。

つまり火の餌となる空気を与えなければ良いのです。

シーツの持ち方です。

- ① シーツを水バケツに浸し、軽く絞ります。(水滴が落ちない程度)
- ② やけどをしないようにシーツを掴んだ手を、手前にひとひねりさせて手を包み込ませます。



続いてシーツのかけ方です。

- ① 体の前面にシーツを広げ、少しずつ近づきます。
- ② 思い切り手を突き出し、フライパンにシーツをゆっくりと覆いかぶせます。手前から奥に向かってかぶせましょう。
- ③ シーツの乾き具合を見ながら、コンロ周辺をシーツで押し込み、空気もれがないようにします。
- ④ シーツの上からガス台のスイッチを「切」にしてください。
- ⑤ 火が消えたか確認をするため、すぐにシーツをめくってはいけません。油の温度は下がっていないので再び発火する可能性があります。



～注意点～

指導者：注意する点はいくつかあります。

- 1 周りに火事であることを伝える
- 2 119番通報をする
- 3 逃げ道を確保しておく
- 4 あぶないと感じたら逃げる
- 5 シーツをかぶせる際、炎でやけどしたり、あわててフライパンをひっくり返さないように注意する
- 6 忘れずにガスのスイッチを切る
- 7 すぐにシーツをめくらない

濡れたシーツを使った消火はあくまでも緊急的なものです。

消火器があるなら消火器を使いましょう。

また、消火器はあくまで初期消火用であることを忘れてはいけません。

火が大きくなり、消せなくなることを念頭に行動しましょう。

そのため、周りに知らせて逃げてもらい、消防署にも連絡をしてもらうことが大切です。

自分もすぐに逃げられるようにしておきましょう。

忘れてはいけないのが「スイッチを切ること」です。

スイッチを切り忘れると再発火する可能性があるので注意しましょう。

～実技～

指導者：それでは実際にやってみましょう。